

茨キリ図書館のお悩み解決

平成20年度学術情報リテラシー教育担当者研修

NII会場 2008年11月21日

8班 f.指導内容(サービスメニュー、コンテンツ、指導項目など)

背景

- 受講生は3年生
 - 初年次教育でOPAC、館内配置、利用法は理解
- 全部のゼミ(約50)が受講希望
 - 広報は図書館長から教官へ
 - その後口コミで広がる
- ガイダンスの前に教官にインタビュー
 - リクエストに沿ったガイダンス



問題点

- 3学部(文学・看護・生活科学部)5学科
 - 様々な分野に対応するガイダンスが必要
- 50のゼミに3人の職員が対応
 - 常にガイダンスに追われ、資料作成が充分にできない

解決策

- メニュー方式によるテキスト作成
 - 全体に使えるコアなものを作成
 - CiNii、聞蔵などの使い方
 - 文献複写の方法
 - 学部ごとに必要な素材選び
 - 各主題別のデータベースの紹介
 - 学科ごとに、ゼミごとにアレンジ
- スパイスを少々...
 - 学生を引き付ける工夫
 - くじ など



解決策

- 素材は日常業務の中にあった！
 - レファレンス業務から
 - 毎日新鮮な素材
 - 教員とのコミュニケーションから
 - 選書業務のなかから

まとめ

- 日常業務の蓄積を生かせ！
- 質を落とさずに労力を節約！

ご清聴ありがとうございました